

## マナーのツボ

### 招待状に「平服で」…何を着る？



招待状に「平服でお越し下さい」と書いてあったのに、言葉の意味を取り違えて恥をかいた、という話を耳にします。私の手元に最近届いた招待状には「ビジネスカジュアル」とか「スマートカジュアル」という言葉が書いてあることもあります。「カジュアル」という言葉に引っ張られ「普段着でいいのかな」と考えてしまつと危険です。

平服とは礼服に対する平服、正装に対する略装という意味で、決して普段着ではありません。略装とはいえ、よそ行きの服装で来てください、という意味です。ビジネス絡みの場合、ジャケットは必須です。

ダークカラーのクラシックの上下が一般的な礼服に対して、ビジネスカジュアル

### 普段着NG、ジャケット必須

ルは明るめの色や素材から選べます。

女性の場合、インナーは白のドレスシャツやブラウスではなく、白以外で胸元のカットが深くないカットソーであれば大丈夫。アクセサリーは個性的な形でも許容範囲です。靴はつま先が開いてないパンプスでカラーも自由。少し派手に感じるきれいな色のワンピースでも、ジャケットさえ羽織ればすてきなビジネスカジュアルになります。

先日、ゴルフ場のクラブハウス入り口で支配人らしき人と利用者の男性が服装について言い争っていました。ドレスコードは招く側や受け入れ側が参加者への配慮として設けている基準です。自分の都合より、それに合わせるのがマナー。事前に確認しておくことスマートですし、当日恥をかかなくて済みます。

(ビジネスマナー講師

美月 あきこ)